

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2020年4月8日】第43号



令和2年度 東京農業大学稲花小学校 第2回入学式を開催

2020年4月6日(月)に、本校は、72名の新入生を迎えました。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、分散、短縮、規模縮小の入学式でしたが、全員がマスクを着用した子どもたちと保護者の笑顔がうれしい日となりました。

祝 辞

東京農業大学稲花小学校 新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
新入生の皆さん、そして、保護者の皆様には、待ちに待った入学式かと思えます。

とはいえ今、私たちは、新型コロナウイルス感染症防止を第一に考える毎日です。そのため、この入学式も、一組と二組を別々に行わなくてはいけなくなってしまいました。そのことは、少しだけ、残念に思っています。

しかし今日、元気に小学校に来てくれた一年生のみなさんの、いきいきとした表情を見たら、とても温かな気持ちで、心にぐっとあふれてきました。みなさんと一緒に過ごす新たな日々が、今日から始まることを、私も、小学校の先生たちも、みんなとてもうれしく思っています。ご家族の皆さまも、そして保育園や幼稚園などで新入生の皆さんがお世話になった先生方も、喜んでおられることでしょう。

皆さんは、これから、この小学校でたくさん勉強をしていきます。と言っても、勉強とは、机に座って教科書を読んだり、ノートを書いたりすることだけではありません。動物や虫に触ったり、野菜を育てたりするのも勉強です。お友達と一緒に遊んだり、運動したり、実験をしたりするのも勉強です。学校の外に出かけて、いろいろなものを見たり、人からお話を聞いたりするのも勉強です。給食をおいしく食べるのも勉強ですね。勉強には、本当にたくさんの種類があります。農大稲花小でのいろいろな勉強を、楽しみにしててください。

そして、私たちは皆さんに、この小学校で、いろいろな冒険をしてもらいたいと思っています。冒険、という言葉を知ると、どんなことを想像しますか。危ないことですか。こわいことですか。そうではありません。今まで知らなかったことを調べたり、今までできなかったことや、初めてで難しそうなことにも、勇気を出して取り組んでみることに。

が、私たち農大稲花小の冒険です。分からないことがあったら、勇気をもって質問することも、冒険です。自分の考えを、人にしっかりと伝えようとすることも、冒険と言えます。そして、冒険のためには、強いところやからだ、そしていろいろな準備をすることが必要なのです。

みなさんが、毎日のいろいろな勉強の中で、たくさんの冒険を重ねながら、大きくなっていくことを、楽しみにしています。

あらためまして、保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

また、入学式を挙げるにあたり、学校法人東京農業大学 理事長 大澤貫寿先生にご登壇いただいております。本来であればご祝辞を賜る予定でしたが、昨今の事情を踏まえ、式次第への掲載に替えさせていただきますことを、ご了承ください。

さて、東京農業大学の創設者は、幕末から明治にかけて活躍した榎本武揚公です。この榎本公は、「冒険は最良の師である」という言葉を残しています。これは、未知なるものにひるまず、困難に立ち向かうことの大切さを謳ったものです。農大稲花小は、この言葉に基づき「冒険心の育成」を教育理念として掲げ、様々な体験によって、知を獲得する学びの実現を目指しています。東京農業大学の大きな支援のもと、また東京農業大学が今まで培ってきた多様な教育資源を活用して、冒険心をもって、科学的、実践的に学ぶ子どもを育ててまいります。

冒頭にも申し上げましたが、今、世の中は新型コロナウイルスの問題によって、未曾有の状況が続いています。そのような中、そして、さらに社会が変動する今、この72人の子どもたちが世の中に羽ばたき、生き抜いていく未来のことを見通すのは容易ではありません。しかし、「冒険心」を軸に、確かな学力と、コミュニケーション力を備え持った子どもたちは、どのような社会であっても、地球のどこにいても、きっと活躍をすることができるでしょう。保護者の皆様をはじめとする、多くの方々のご理解とご協力を仰ぎながら、私たち教職員一同、新入生の一人一人を大切に、愛情を注ぎながら教育に当たってまいります。

今日の日が、それぞれのお子様の夢、ご家族の希望を叶える第一歩となることを願っております。

あらためまして新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

2020年4月6日
東京農業大学稲花小学校 校長 夏秋 啓子

来賓の方々

来賓としては、学校法人東京農業大学理事長大澤貴寿先生、学校法人東京農業大学初等中等教育部統括校長金田喜明先生、東京農業大学稲花小学校教育後援会会長横沢正和様、同副会長朝倉啓友様をお迎えし、ご登壇いただきました。大澤理事長及び横沢教育後援会会長からの祝辞も、新入生に配布されました。

お祝いの品々

新入生は新しい教科書を担任の先生から受け取りました。そのほか、記念品としてお米三兄弟の描かれた東京農大エコバック、かわいいイラスト入りで農大稲花小の理念が紹介された「東京農業大学稲花小学校の本」と「東京農業大学稲花小学校の歌」のCDも受け取りました。校歌である「東京農業大学稲花小学校の歌」は谷川俊太郎先生が作詞、谷川賢作先生の作曲になるものです。また、東京農大マークとみのりマークの入った特別な紅白饅頭(群馬県だんべい本舗風間堂製)も配布されました。

そのほかにも、東京農業大学教育後援会のご提供により東京農業大学が地域連携している長野県木祖村産ひのき製のお箸と箸袋、東京農業大学の連携企業の一つであるアルファ一食品株式会社ご提供のお赤飯、さらに同じく東京農業大学の連携企業の一つであるキューピー株式会社より「から破りキューピーマスコット」を頂戴しました。

困難な時期ですが、今日の日うれしい思い出の品、思い出の味となりますことを願っています。

続く一斉臨時休業

三学期の途中からはじまった一斉臨時休業。4月からの学校再開を期待していましたが、新型コロナウイルスの猛威は衰えず、4月7日(火)に予定していた始業式を延期しました。さらに、同日夕方には、7都府県で改正特別措置法(新型コロナ特措法)に基づく緊急事態宣言が初めて発令されたことから、本校も5月6日(水)まで一斉臨時休業としました。それにともない、2年生の子どもたちには、教科書ほかを、本校から郵送する手配をしたところです。

今後は、子どもたちの家庭学習を補助する教材づくりやその発信を行う予定です。とはいえ、本校でも教職員が在宅勤務体制に移行しています。そのため、作業を迅速に進めることが難しい状態です。この点について、一斉臨時休業の趣旨からも、ご理解をいただければ幸いです。

校長 夏秋 啓子